

平成27年度 第8回高山市教育委員会定例会議事録

1. 日 時 平成27年9月28日（月） 午後1時30分から
2. 場 所 行政委員会室
3. 出席者 委 員 針山委員長、岡田委員、打江委員、野崎委員、中村教育長
事務局 井口教育委員会事務局長、田中教育総務課長、谷口学校教育課長、中井文化財課長、瓜田学校給食センター所長、学校教育課 谷本、教育総務課 直井
4. 署名者 野崎委員

午後1時30分開会

○針山委員長 本日の委員会は、出席委員5名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、定足数に達していますので、成立しております。ただ今から、平成27年度第8回高山市教育委員会定例会を開会いたします。

○針山委員長 会議録署名委員の指名を行います。
本日の会議録署名委員は、「野崎委員」を指名いたします。

○針山委員長 前回定例会の会議録について承認を行います。
前回定例会の会議録について「岡田委員」お願いいたします。

○岡田委員 前回の定例会会議録について、精査した結果、記載事項について適正に調製されておりましたので、署名したことをご報告いたします。

○針山委員長 ありがとうございました。
それでは、前回定例会の会議録についてご承認いただけますでしょうか。

（異議なし）

○針山委員長 前回の会議録は、調製のとおりに承認されました。

○針山委員長 次に、中村教育長から報告がございます。

（教育長報告）

○針山委員長 それでは、日程第1、議第16号「平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について」を議題といたしますが、当議題につきましては内容に個人に関する情報が含まれておりますので、法律第13条第6項ただし書の規定により、公開しないこととしたいと思います。

○針山委員長 それでは、ただ今お諮りしました議第１６号は、公開しないこととすることにご異議ございませんか。

（異議なし）

○針山委員長 ご異議なしと認めます。よって、議第１６号は、公開しないことに決しました。

○針山委員長 それでは、改めまして日程第１、議第１６号「平成２７年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について」を議題といたします。
事務局より説明願います。

○谷口学校教育課長 ＜資料に基づき説明＞非公開

○針山委員長 事務局の説明は終わりました。ご質疑等はございませんか。

（非公開）

○針山委員長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑等を終結いたします。

○針山委員長 それでは、ただ今議題となっております議第１６号について、事務局説明のとおり決めるにご異議ございませんか。

（異議なし）

○針山委員長 ご異議なしと認めます。よって、議第１６号について、事務局説明のとおり決しました。

○針山委員長 それでは次に日程第２、報告１７「小中学校における現状と課題について」を議題といたしますが、当議題につきましては、内容に個人に関する情報が含まれておりますので、法律第１３条第６項ただし書の規定により、報告内容について一部公開しないこととしたいと思います。

○針山委員長 それでは、ただ今お諮りしました報告１７は、一部公開しないこととすることにご異議ございませんか。

（異議なし）

○針山委員長 ご異議なしと認めます。よって、報告１７は、一部公開しないことに決しました。

○針山委員長 それでは、改めまして日程第２、報告１７「小中学校における現状と課題につい

て」を事務局より報告願います。

○学校教育課 谷本 <資料に基づき説明>非公開

○針山委員長 　　ただ今の報告についてご質疑はございませんか。

○野崎委員 　　今説明のあった件については、学校を訪問する中で子どもの様子を見たが係の仕事をしっかり一生懸命やっており、本当に真面目な子なんだと思います。思春期というと家庭的な様々なこと、一番大事な自分を守ってくれる母親との関係など色々なことがあるので、本当にその子が乗り越えなければならないことなんだなということで、学校の勉強が出来ていなかったこともあると思うが、先生が本当に上手くまとめられ、自分が褒められていなくても、皆があなたはそのままいいんだよというかわりあいをしていることを継続してほしい。この間も体育祭を一生懸命取り組んでいたのも、多分その後に先生もフォローされたと思うし、運動会後によく係の仕事をしたということで、本人の言葉とか褒められたことに対する何かエピソードがあれば教えてもらいたい。また、そのような行動を繰り返す子は、頑張っていると思って何かのきっかけで落ち込み繰り返してしまうことがありながら大人になっていくケースもあるように、高校になる前の今が大事だと思う。その点を継続して支援しているということなので、今後も魂が傷ついた子に対してのフォローの継続をお願いします。体育祭の後の様子について何かあれば伺いたい。

○学校教育課 谷本 学級活動に対しての仲間からの認め励ましについては確認できていませんが、部活の大会があり結果としては敗北であったが、これまで休みがちであったにもかかわらず最後まで頑張りやりきったことに対し、多くの仲間や顧問から励ましがあつたようです。また、お父さんにもカウンセリングを受けていただく中で、週末に親子で外出するなど絆を深めあっているようです。

○針山委員長 　　その子是不登校であったのか。

○学校教育課 谷本 不登校になりがちではあったが、現在欠席せず通学しています。

○針山委員長 　　現場の努力により状況は改善されているようですが、今後も注視してほしい。

○岡田委員 　　1件目のいじめについて教えてほしい。部活を休んだことが原因となっているようですが、本人の事情にもよると思うが、その辺りの詳細は把握していますか。

○学校教育課 谷本 家族の説明としては、1つ目は体が弱く疲れやすい、2つ目は発熱しやすい等の理由により休みがちであると聞いている。

○岡田委員 　　このことは他の子ども達も承知している中でこのような問題が起こるのは、中学

生でありまだまだ精神的に幼い部分があったのではないか。まして人数の少ない部活の中で休まざるを得なかったことに対し、顧問や保護者の方、子ども達など様々な方々の理解が不足していたのかも知れない。

○打江委員 自虐的になり苦しいことだと思う。学校では色々なサポートがあるが、家庭に戻って手薄になったときには、地域とか何らかの形でサポートするものはありますか。

○学校教育課 谷本 たまたま今回の場合は地域のつながりの中で民生児童委員が家庭状況をよく把握していてサポートいただいた。家庭の中がぎくしゃくする時でも地域に支えられた事もあり、地域力というのを大切にしなければいけないと感じています。

○針山委員長 確かに地域力は大事であると思う。例えば不登校についても周りの人達が気付くケースもある。今後、協働のまちづくりを通じて地域力が伸びていくとよいと思う。

○針山委員長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑を終結いたします。

○針山委員長 次に日程第3、議第17号「平成26年度高山市教育委員会点検評価について」を議題とします。
事務局より説明願います。

○田中教育総務課長<資料に基づき説明>

○針山委員長 事務局の説明は終わりました。ご質疑はございませんか。

○針山委員長 今回、皆様からの質疑はないようですね。

○田中教育総務課長 点検評価の中身や意見はしっかりと受け止め、今後、見直しや改善を行う必要があると思います。この件や後ほどの報告22、校長会からの要望事項を含め、10月1日の臨時会では今後の高山市における教育行政のあり方を検討したいと考えていますので、本日、この議題をご決定いただいた上で、改めてその場であり方についてのご意見をお聞かせいただきたい。

○針山委員長 ご質疑もないようでありますから、以上で質疑を終結いたします。

○針山委員長 それでは、ただ今議題となっております議第17号について、事務局説明のとおり決するにご異議ございませんか。

(異議なし)

○針山委員長 ご異議なしと認めます。よって、議第17号について、事務局説明のとおり決し

ました。

○針山委員長 次に日程第４、報告１８「平成２７年度高山市一般会計補正予算について」を事務局より報告願います。

○田中教育総務課長＜資料に基づき説明＞

○針山委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

○打江委員 今回、三枝小学校、新宮小学校等の修繕工事が補正されたが、優先順位は各学校の要望や教育委員会の意見をあわせて事業化されるものか。

○田中教育総務課長 当初予算計画の際には、各学校の要望を受けながら、現地調査を踏まえ必要性の優先順位を決めています。今回、補正予算として計上した事業は、平成２７年度予算の要求以降に、本年４月からの学校要望と現地調査を行う中で、来年度事業ではなく特に早急に行う必要があると認められる事業について予算化し実施するものです。

○針山委員長 今回の補正は、予算要求後に新たに必要性がでてきた事業ということか。

○田中教育総務課長 三枝小学校屋内運動場については、１月下旬の落雪の際に屋根を損傷したと思われるが、この時点では予算要求は終わっていてほぼ金額が固まっています。なお且つ、その後も落雪があり春先まで屋根に雪が残っているなど、具体的にどのように修繕したらよいか検討できない状況であった。屋根の雪が解けてから現場調査を行い損傷箇所や水漏れがないかを確認し、今後の豪雪にも耐えうる設計をする中で今回の補正となった。

○針山委員長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑を終結いたします。

○針山委員長 次に日程第５、報告１９「平成２７年度夏期集中講座について」を事務局より報告願います。

○谷口学校教育課長＜資料に基づき説明＞

○針山委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑はございませんか。

○針山委員長 ご質疑もないようでありますから、以上で質疑を終結いたします。

○針山委員長 それでは次に日程第６、報告２０「平成２７年度全国学力・学習状況調査の結果について」を議題といたしますが、当議題につきましては、高山市情報公開条例第

6条第5項に該当するものとして、報告内容について一部公開しないこととしたい
と思います。

○針山委員長 それでは、ただ今お諮りしました報告20は、一部公開しないこととすることに
ご異議ございませんか。

(異議なし)

○針山委員長 ご異議なしと認めます。よって、報告20は、一部公開しないことに決しました。

○針山委員長 それでは、改めまして日程第6、報告20「平成27年度全国学力・学習状況調
査の結果について」を事務局より報告願います。

○谷口学校教育課長 <資料に基づき説明>非公開

○針山委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

○野崎委員 睡眠時間と朝食について学力との相関関係が考えられるとの報告であったが、ど
ちらも脳の働きにとって大切な事だと思います。睡眠については具体的な起床、就
寝時間や、朝食についてはブドウ糖が大切であり、ご飯やパンなどの炭水化物を食
べているのか、牛乳だけで済ませているのかで状況が違うと思う。調査の中でこの
辺りがわかれば教えてほしい。

○谷口学校教育課長 手元に詳細データはないが、集計としてはとられていると思う。この問題につ
いては眠育、食育ということで大事な問題としてとらえており、単なる学力だけで
はなく、いじめや不登校につながる問題である。睡眠が与える子ども達への生活や
学習への集中に影響があり、何時に就寝するのかを記録しながら行う眠育の重要性
を校長会や教頭会の中でも説明している。高山市いじめ問題対策協議会の中でも市
内中学校の事例について報告いただくなど重要な問題と認識し取り組んでいるとこ
ろです。

○打江委員 結果については、各学校も把握していて保護者にも報告されるのか。

○谷口学校教育課長 各学校では学校だより等を通して、学校全体として思考力が弱い、書くことが
弱いなどの傾向を各家庭へのメッセージとしてお知らせしている。同じように各学
校にはその学校の特徴や弱点等を分析し、そのための取り組みを検討したうえで保
護者に伝えていくことを求めている。

○打江委員 本日の報告やこれまでの育児を踏まえ生活習慣と学力の問題は関係があると思っ
ています。朝食や就寝時間、テレビを見る時間、ゲームをする時間などは、子ども

が自分をコントロールする力に関係していると思う。今回の結果は、小学校ではまだその力が弱い、中学校では備わってきていることの表れではないかと思う。将来的には社会に出て、仕事をするうえで適応していく力につながるのではないかな。そんな事も考えながら教育をしていく必要があると感じたのでお願いしたい。

○谷口教育総務課長 おっしゃられる通り、教育は学校だけで成し得るものではないということだと思います。食事や睡眠など生活習慣を正すには家庭と一緒にやっていく必要があります。更には、調査結果からは地域行事への参加など体験から得られる力もあることが示されており、地域とも協力してすすめる必要があることを校長会等でも説明している。

○岡田委員 学力調査は毎年行われているが、今年度はこれまでの結果と比較した場合にはどのような結果となっているのか。

○谷口学校教育課長 学力については、全般的に小中ともに向上しています。生活面についても詳細な状況の把握は可能であるが、まだ分析には至っていません。

○針山委員長 各学校には、全体の中での学校としてレベルがわかるような資料はあるのか。

○谷口学校教育課長 市の教育委員会には、学校毎の個別のデータが来ていますので、事務局ではこれをまとめ一覧として整理、分析しています。各学校に対しては、個別学校名をふせた状態で、自分の学校の市全体での位置がわかるような資料を提示しています。学校ではこの資料も参考に分析や今後の取り組みの検討を行っています。

○針山委員長 学校としては詳細な結果を把握しているのだから、単に数値としてだけでなく、学校として良いところや悪いところのレベルを保護者に報告するようなことはあるのか。

○谷口学校教育課長 順位として何位ということを示すことは指導していないが、単に正答率だけでなく具体的にこの教科のどの部分が良くて、この部分は努力していく必要があるということを示すことを保護者に示すことを行っている。

○針山委員長 学校としてはこのデータを十分活かし教育を行う必要があるし、事務局としてはその点についてしっかり指導して欲しい。また、中学校は他と比較し全体的にレベルが高いのに対して、小学校では同様の結果とはなっていない。裏返せば小学校での基礎があるので中学校の結果があるということになるが、その点についてはどうか。

○谷口学校教育課長 調査対象は中学校3年生と小学校6年生であるが、前提として小学校6年生が中学校3年生になった時を示すデータはなく、比較できる調査母体が異なるため何

とも言えない。ただ、いつも小学校が低くて中学校が高いということは調査母体だけの問題ではなく、指導方法なのか、要因の分析が必要である。

○野崎委員 毎日の漢字ドリル等の学習により、小学校として押さえるべき知識をしっかりと身につけることなのかなと思う。秋田県や福井県が小中学校ともいつも成績がいいのは、何をしているのか。努力している良いところは何なのか、わかっていることがあれば教えてほしい。

○谷口学校教育課長 これはかなり私見が含まれるが、中学校は継続して全科目で成績がいいのは、裏返せば小学校の時のやり方は間違っていなかったとも言える。小学校で良くて中学校で悪いという結果があれば別であるが、小学校での基礎があって今の中学校の結果があるという前提でいけば、この結果だけに一喜一憂はできない側面はあるが、データを分析する中で課題を明確にし対応していかなければいけない。ただ結果が悪かったからといって、すぐ秋田県や福井県の方式に学べということにはつながらない。実際に他県では秋田や福井に先生を派遣しその方式を学ぶ取り組みも行っているが、我々としてはまず足元から固めなければいけないと考えている。

○野崎委員 今の話を踏まえ、私見でもいいが「何が」という部分があれば聞かせてください。

○谷口学校教育課長 一つの例としては、中学校における家庭教育とのつながりは良い関係になってきていると言えるのではないかな。また、各学校間のわずかな差は問題とならないが、各項目の正答率に大きな開きがある場合もあり、これは学校としての課題であると思っている。

○針山委員長 その通りである。そのような課題は学校としてもしっかり受け止め、改善されるよう指導してほしい。

○打江委員 別の話であるが、成績が低調な場合に小規模校だと教科担任が1人のケースもあると思うが、このような場合はどのように対応しているのか。

○谷口学校教育課長 高山市全体の中では、教科研や教育事務所主催の研修会で学ぶほか、先程の夏期集中講座での指導を通じて教育レベルの向上を図っている。点検評価の中でも話をしたように、教師の資質、指導力は高めなければいけない。学校の使命は学力を身に着けることであり、学校長としては、個人の問題としてではなく学校の問題として取り組むべき問題であり、その授業についての指導は校長が責任をもって指導しなければいけない。教育委員会としてはその点について指導をしていかなければならないと認識している。

○針山委員長 先程の話、東北や北陸で成績がいいが、一般的にこの地方は家庭に帰るとおじいちゃん、おばあちゃんがいて家庭も充実していると思う。学校での取り組みもある

と思うが、やはり受け入れる家庭の問題も大きく影響しているのではないか。例えば不登校の問題にしても、生涯学習で家庭教育など講演を行う場合には、その辺も考えて連携しながら行う必要があると思う。

○打江委員 越前市で学校の様子を見た時に感じたことは、学校や勉強が大事であるということと家庭が共有している点です。家庭や地域そのものが学校、勉強を大事にするという価値観が共通していると思った。

○針山委員長 ご質疑も尽きたようですから、以上で質疑を終結いたします。
ここで一旦休憩します。

(休憩 午後 3 時 4 0 分～午後 3 時 5 0 分)

○針山委員長 休憩を解いて会議を続行します。
次に日程第 7、報告 2 1「平成 2 7 年度高山市研究指定校公表会について」を事務局より報告願います。

○谷口学校教育課長<資料に基づき説明>

○針山委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑はございませんか。

○針山委員長 ご質疑もないようですから、以上で質疑を終結いたします。

○針山委員長 次に日程第 8、報告 2 2「高山市教育委員会への要望事項について」を事務局より報告願います。

○谷口学校教育課長<資料に基づき説明>

○針山委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑はございませんか。

○針山委員長 このような要望は毎年出されており、今日は校長会に代わって谷口課長から説明があった。今後としては、会議も多くなるかもしれないが、校長会から直接意見を聞く機会を設け内容を確認し、意見交換していくことも必要と考えている。

○中村教育長 これまでには、合併時に最大 3 6 校、3 6 人の校長がいて教育委員 5 人と意見交換する場を設けたこともある。学校によって課題も様々でテーマを絞って話をするのも難しいが、時間がとれたら是非やってほしいし、させてもらいたい。

○針山委員長 是非、行う必要がある。今後、総合教育会議も開かれると思うが、学校現場の意見として教育委員もしっかり把握し考える必要がある。

○田中教育総務課長 10月1日臨時会の件を後ほど説明しようと思っているが、今日の中でこのことを十分議論していくことは難しい。本日は概要確認として、10月1日に更に深く掘り下げながら自由討議を行ったうえで、改めて校長会との意見交換も行いながら、総合教育会議につながる議論を行っていきたいと考えている。

○針山委員長 説明のあったとおり、1日の日程の中でこの要望事項や時間があれば先日の文化施設の視察に関する意見も含めて自由討議を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○針山委員長 では、ご質疑もないようでありますから、以上で質疑を終結いたします。

○針山委員長 次に「後援名義使用について」の報告をお願いします。

○田中教育総務課長 <資料に基づき説明>

○針山委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

○針山委員長 ご質疑等もないようでありますから、以上で質疑等を終結いたします。
その他に報告がありましたら順次報告願います。

○川田市民活動推進課長 <平和都市宣言に関する進捗状況について報告>

○田中教育総務課長 <10月1日教育委員会臨時会の開催について報告>

○針山委員長 それでは、定例会の開催日時を決定したいと思います。

(協議)

【10月1日 午後4時00分】臨時会

【10月26日 午前9時00分】

【11月25日 午後1時30分】

【12月24日 午後1時30分】

○針山委員長 それでは以上を持ちまして、本日の議事日程が全部終了いたしましたので、本日の会議を閉じ、平成２７年度第８回高山市教育委員会を閉会いたします。

午後４時３５分閉会